

株式会社ツルハ(東証一部)による株式会社くすりの寺田の営業の一部の譲受

(合意契約締結時期) 2003年10月

(当社の立場) 双方企業への提案と双方からの依頼により仲介

(案件の意義)

ドラッグストア大手のツルハは、ドラッグストアのナショナルチェーン構築を前進させるため、山梨県内でのドミナント化をすすめ、首都圏での事業規模を拡大することを一つの課題としていた。一方、くすりの寺田は、ドラッグストア業界においては大手チェーン間の出店競争がますます激化し、生き残りをかけた競争が盛んになると予想される中、現在の規模で事業を継続していくことの将来性を考慮していた。このような両社に対し、くすりの寺田が山梨県内で営業する7店舗のうち5店舗の営業をツルハに譲渡する本件を提案。両社の意向が合致した。